

大阪雇用対策会議における緊急雇用対策(案)

平成21年9月 大阪雇用対策会議
(大阪労働局・大阪府・大阪市・連合大阪・関西経済連合会)

そこで!

雇用の現状

金融危機に端を発する景気後退に伴い、大阪の雇用失業情勢も急激に悪化

○有効求人倍率
0.92倍(H20.7)
↓
0.45倍(H21.7)
※H14.6以来の低水準

○完全失業率
5.2%(H20.4-6月期)
↓
6.2%(H21.4-6月期)
※全国ワースト4位

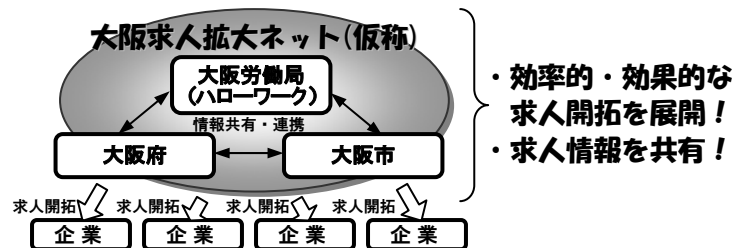
○雇用調整助成金等に係る休業等実施計画届受理状況
4,863人(H20.12)
↓
184,949人(H21.7速報値)
※失業を免れている労働者が相当いると考えられる

オール大阪での緊急雇用対策が必要!

公労使5者が一体となって事業連携を図り、緊急雇用対策に相乗効果を発揮!

「求人拡大キャンペーン」を実施!

大阪求人拡大ネット(仮称)を設置!



- ★局・府・市による連絡協議会を設置し、下記の取組を実施・検討する。
 - 採用意向調査等に基づく計画的な求人開拓の実施
 - 国・府・市などの企業向け支援メニューを集約し、求人開拓に活用
 - 共有可能な求人情報の相互活用

特別求人開拓事業
(平成21年度実施)で
31,500人

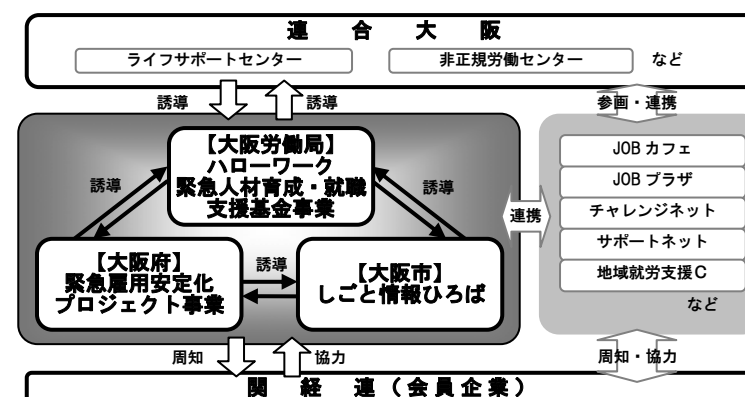
大阪府緊急雇用安定化
プロジェクト事業で
5,500人

あわせて
4万人

などの求人を開拓!

ふるさと雇用再生基金事業や緊急雇用創出基金事業などで
2万人の雇用を創出!

構成5者の相互連携により、マッチングを促進!



- ★求職者が最適な支援を受けられるよう、大阪労働局・大阪府・大阪市が行うマッチング促進事業の利用者を相互に誘導
- ★局・府・市のマッチング促進事業の利用者を連合大阪の各センターへ、連合大阪の各センター利用者を局・府・市のマッチング促進事業へ、相互に誘導
- ★関経連は会員企業に事業周知とPRを行い、マッチングの促進に協力

相互誘導で
最適な支援!

5者連携による「相談会」「企業説明会」をセットで集中的に開催!

- ★雇用に関する様々な支援メニューを提供する相談会と合同企業説明会を5者連携により一体的に開催。

- 《相談会で提供する主な支援メニュー(例)》
- ・職業適性相談
 - ・労働相談
 - ・雇用保険に関する相談
 - ・定期採用における新卒・既卒を区別しない採用の拡大に向けた啓発 など

10~12月に
計10回
開催!

さらに!

本年10~12月を「集中取組期間」として
求人拡大と雇用のミスマッチ解消に集中して取り組みます!

「緊急雇用対策プラン」(平成21年度~23年度)

目的

- ① 公労使が連携して緊急雇用対策を実施し、大阪府域の雇用失業情勢の改善を進めることにより、府民生活の安定を図ること
- ② 雇用失業状況の厳しい就職困難者について雇用の安定を図ること

期間

平成21年度から23年度までの3年間

雇用情勢の悪化に対応した緊急の取組

雇用失業情勢改善に向けた緊急取組の「3本柱」

- ① 雇用を「守る」~雇用の維持・確保~
- ② 雇用を「増やす」~緊急雇用創出~
- ③ 雇用に「つなぐ」~マッチング・人材育成促進~

特に雇用失業状況の厳しい就職困難者に対する就労支援等の取組

特に厳しい雇用失業状況にある就職困難者に対しては、公労使が連携して、対象者ごとにきめ細かな支援を実施

障がい者	就労支援と企業の雇用促進の両面から総合的に取組む
若年者	安定的な雇用への支援、採用環境の整備、離職防止、職業的自立に向けた支援に取組む
母子家庭の母親	生活支援を含めた総合的な支援に取組む
中高年齢者	意欲と能力のある中高年齢者が働き続けることができる社会の実現を目指す
ホームレスの人等	雇用のセーフティネットとして、これらの人に対する就労支援等の取組みを実施